

新しい出発

本願寺では、専如光淳門主を中心に、新しい出発がスタートしています。伝灯奉告法要御満座の消息・伝灯奉告法要専如ご門主ご親教「念仏者の生き方」(裏面に詳細)を柱に、平成三十五年親鸞聖人誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要に向けて、準備を整えています。団参の募集も計画されています。特にご門主は、今まで浄土真宗のご縁の少なかつた、若い方や、ふるさとを離れてお仏壇のない生活をしておられる離郷門徒といわれる方に、お念仏を伝える取り組みに力を入れて、来る法要を迎えたいと決意を示しておられます。宗門総合振興計画「門信徒の皆様へ」参照下さい。



安楽寺でも、住職継職法要から、若い、恒乗・聡子夫妻が、力を合わせて、勉強会を呼びかけ、親鸞聖人誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要の勤修に向けて取り組んでいます。ご門主の心にお答えし、安楽寺を真のお念仏の道場に育て、離郷門信徒への働きかけに取り組みご縁と致したいものです。親鸞聖人七百五十回大遠忌法要並びに記念事業に取り組み、一段落したところで、改めてのスタートを切ることにあります。重ね重ねのご負担をお願いする次第でございます。浄財・懇志の進納状況に合わせて、法要・記念事業を実施致したいと存じます。懇志受付は平成三十四年春までとし、一戸当たり一〇万円を目安にお願い致します。進納は同封郵便局振込用紙をご利用下さい。この法要後は約二十五後蓮如上人五五〇回忌法要まで期間が空きます。

安楽寺佛教壮年会主催

勉強会のご案内

ひとりでも多くの方々に、阿弥陀如来さまとのご縁にあつて頂きたいとの願いから、去る7月31日に安楽寺佛教壮年会を発足しました。

「お焼香は何回?」「お念珠はどうやって持つ?」「お正信偈の唱え方は?意味は?」など、浄土真宗の基本的なお作法やお勤めについて、共に学んでいきましょう。

**奇数月は美馬安楽寺、
偶数月は脇町安楽寺を会場に、
第2土曜日の午後7時開始**

8時30分終了予定。
“壮年”とありますが、年齢性別を問わず歓迎いたします。お誘い合わせの上、ご参加ください。

記

日時：平成29年12月日(土)
19時～20時30分
会場：脇町安楽寺

持ち物：門徒式章、念珠、
門徒必携「み教えと歩む」
安楽寺門徒勤行集

参加費：無料
※時半ごろより、会場設営のお手伝いもお願いいたします。

今のご門主としてご活躍の光淳様とのお約束がスタート



安楽寺報

平成29年度報恩講版

脇安楽寺

平成二十九年度 御正忌報恩講ご案内

時 十二月三日(日)
午後一時始

所 脇町安楽寺本堂

法要
御正忌報恩講法要
音楽法要
正信念仏偈

法話 千葉昭彦前住職

聡子坊守 歌唱指導が

お早めにお越し下さい

お稚児さん募集

時 十二月二十四日(日)
午前10時半受付
所 美馬安楽寺本堂
小学生男女1名一千元
申込は十二月二十日(水)まで

報恩講の起源

一般に「御開山さま」といえば親鸞聖人を、「報恩講」というと親鸞聖人の御正忌報恩講をさします。しかし、御開山も報恩講も、いずれも仏教各宗に共通の言葉です。浄土真宗の御開山としての親鸞聖人が多数の人々に敬愛され、報恩講が全国真宗門徒の最大の行事としてひろく行われるところから、御開山・報恩講を独り占めにしてしまいました。一月十六日(旧暦十一月二十八日)の親鸞聖人の御正忌法会を報恩講と称するのは、永仁二年(一二九四)聖人の三十三回忌からです。覚如上人が「報恩講式」を著し、法会の勤式を定められてからのこととです。通例七ヶ日勤められます。法会を行っています。(千葉乗隆)

安楽寺では、毎年十二月第一日曜日に勤めます。
お手伝いの帳面が回っていますので、よろしくご協力をお願い致します。お世話人を通じてお願いしています。当日お持ちいただいたりも結構です。進納懇志(お手伝い)は、法要費、本山賦課金・懇志、教区賦課金・懇志、水光熱費、営繕・警備費、等に充当しています。

御門徒の皆さんは、ぜひご参詣下さい。どなたでも参加できます。門信徒以外の方もお誘い下さい、お待ちしております。



下は昨年のお稚児さん

十二月三十一日(日)午後十一時半

一月一日(日)午前〇時